

平成28年度第3回佐久市総合計画審議会 議事録

日 時：平成28年10月12日（水）

13：00～14：30

場 所：佐久市役所 南棟

3階会議室

【出席者】 白井会長、山本副会長、佐藤則之委員、岩間委員、桃井委員、土屋敏子委員、油井委員、秋山委員、相馬委員、土屋せつ子委員、柳沢委員、伊坂委員、武重委員、田島委員、花岡委員、小林壽夫委員、土屋やよい委員、金澤委員、甘利委員、武者委員、石山委員、篠原委員、佐藤和夫委員、中島委員、美齊津委員
以上25名

【事務局】 矢野部長、佐藤課長、若林課長補佐（企画調整係長）、市村企画員、小林主任、大井主任、山口主任、佐藤主事

1 開 会

2 議 事

(1) 第一次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理について

事務局から資料に基づき説明（資料1-1～1-3）

評価結果等について承認いただいた。

質疑、意見等なし

(2) 第二次佐久市総合計画前期基本計画の目標設定等について

事務局から資料に基づき説明（資料2-1、2-2）

質疑、意見

(委員)	<p>アウトカム（行政活動の成果）を重視するという観点で、アウトカムがうまく表れる客観的基準があれば、目標管理において重要なことなので、ぜひ取り入れていただきたいと思います。</p> <p>また、後期基本計画の目標では少し細か過ぎるものを設定していたのではないのでしょうか。</p> <p>一方、統計指標でも目標としてふさわしいものもあるかと思うので、検討いただきたいと思います。</p> <p>市民満足度を施策目標として設定するのは、客観性を欠くところもあるのではないかと思います。</p>
------	--

<p>(事務局)</p>	<p>市民満足度を施策目標として設定する場合には、評価の方法を工夫していただければと思います。</p> <p>確かに後期基本計画の目標は、事務事業のレベルの細かなものが多かったかと思います。</p> <p>例えば、「工業」の分野の「製造品出荷額」という目標は、「工業」という分野全体を表す成果指標かと思いますが、他の分野全てについてこのような指標を設定するのは難しいと考えています。</p> <p>市民満足度調査の結果に基づき、市民が施策についてどのように感じているかを把握できれば、どの施策に重点的に力を入れていくべきかが分かることから、施策ごとの目標として設定したいと考えています。</p> <p>頂いたご意見について、検討させていただくとともに、統計指標についても客観性を担保する担保するものとして、目標として設定することを検討したいと思います。</p>
--------------	--

(3) 佐久市第二次佐久市総合計画素案について

事務局から資料に基づき説明（資料3-1～3-3）

質疑、意見

<p>(委員)</p>	<p>用語解説について「はじめに」5ページのグラフ内の「老年人口」、「生産年齢人口」、「年少人口」の語や、同じページの「団塊の世代」の語も、分かりにくいと思うので、解説を付した方が良いのではないのでしょうか。</p>
<p>(事務局)</p>	<p>分かりました。</p>

素案について承認いただいた。

(4) その他

次回開催予定などについて連絡

3 閉 会